



大阪狭山市議会議員
鳥山 健

☆迎春



大阪狭山市長
古川 照人

新年おめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこと、市議会を代表し謹んでお喜び申し上げます。

昨年中は、市議会および各議員の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨夏には金剛駅近隣に商業施設がリニューアルオープンし、あわせてマンションの建設や各地区で新たな住宅地の開発などが予定されています。

また、近畿大学病院の移転に伴う跡地活用や狭山ニュータウンの再生・活性化への取り組み、老朽化が進む公共施設への対応などが進む中、これからのまちづくりが、子どもから高齢者まで、あらゆる年代の人にとって住みよいまちづくりになるよう期待も高まるところです。

市議会では、市における転換点との認識を市民の皆さまと共有し、さらに開かれた市議会に向けて、新たな取り組みを進めています。

昨年10月から、これまでの議会報告会・市民との意見交換会の開催に加え、正副議長などが市民の皆さまのご意見を直接お聴きして、議会の議論を促す正副議長室開放事業を始めています。

また、タブレット端末を活用した議会運営など、さらなる議会のデジタル化の推進により、昨年12月定例会議会からは、市民の皆さまがスマートフォンなどで視聴できる本会議に加え、各委員会審議のYouTube生中継も新たにスタートいたしました。

今後も、市民の皆さまのご意見やご要望を真摯に受け止め、市政に反映できるよう取り組みを進めてまいります。また、市政の諸課題について議員間での議論を重ね、まちのさらなる発展と議会の機能強化・活性化に挑戦してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、市民の皆さまにとりまして、本年が健やかで実り多き年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年おめでとうございます。

市民の皆さまには、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、大阪狭山市政の発展に、様々な分野でご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

市では、今後直面する人口減少とさらなる少子高齢化の進展への対応をはじめ、時代の変化に対する市民ニーズなどを踏まえ、公共施設の老朽化対策や学校園の適正配置など、未来につながるまちづくりが求められています。

本年は、既に策定した「大阪狭山市公共施設再配置計画第一期(2025年度～2032年度)計画」、「大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する実施方針」および「大阪狭山市立地適正化計画」に基づき、まちを「リメイク」するための具体的な取り組みを進めてまいります。

今後も、市民の皆さまとともに、「生涯 住み続けたいまち 大阪狭山市」を実現してまいりますので、引き続き市政運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、いよいよ4月13日に大阪・関西万博が開幕します。これに先駆け、今月18日に市は近隣市と連携し、内閣官房万博国際交流事業「南河内四市×エジプトフォーラムTALK&DANCE!」を実施いたします。また、大阪・関西万博の期間中に大阪府や府内自治体が一体となって取り組む大阪ウィーク～春・夏・秋～において、市独自で市民パフォーマンスステージや市民アート展示を実施するなど、市民の皆さまとともに市の魅力を世界に発信してまいります。子どもから大人まで未来の可能性を感じていただける契機となりますことを願っております。

結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸多く飛躍の年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

1/12 (日)

午前10時～
午後3時30分

小さな子どもたち
だけでなく、
中高生も楽しめ、
様々な遊び、学びを
体験できる一日です!

新春 こどもまつり in 市立公民館

遊びと学びの体験

内容 クラフト(木の車、リボンの花、風車、ぶんぶんごま)、折り紙体験、鉄道模型列車の運転体験、絵本の展示と簡単手づくりワークショップ、クラフト(折り紙でつくるひなまつり)、ストラックアウトなど

【時間限定プログラム】

とき・内容 午前10時～午後0時/一字書体験、ラミネートカードづくり、マン研制作物販売、午前10時～午後0時30分/お茶体験(お菓子付き)、午後1時～2時/ポンポンダンス体験、午後2時～3時/ドラム体験

【和太鼓体験(当日申し込みが必要)】

とき 午前10時30分～11時 **対象** 5歳児～小学生 **講師** 大阪狭山桜太鼓 **定員** 24人(先着順) ※当日午前10時～10時30分に玄関フロアで受け付け

模擬店 玄関前広場&玄関フロア

内容 キャベツ焼き、綿菓子、カレーうどん、フランクフルト、焼きとうもろこし、焼きもち、インド・ネパールのストリートフード、たこせん、おしるこ、ワッフル、お茶、玉子せんべい、スーパーボールすくい、あてものなど

お願いと注意事項

できるだけ公共交通機関を利用してください。各体験コーナーでの飲食はご遠慮ください。プログラム内容は変更になる場合があります。

ステージ 多目的室・展示フロア

吹奏楽演奏、ダンス発表、キッズダンス、和太鼓ワークショップ受講生成果発表と和太鼓演奏、バンド演奏、表現倶楽部うどいパフォーマンス、演劇部による演劇、南京たますだれ&バルーンショー

プラネタリウム特別投影

「レトロ電車オリオン行き」

とき 午前10時45分から、午前11時45分から、午後0時30分から、午後1時30分から(30分間) **投影** 中島健次さん/那須香大阪天文台長 **定員** いずれも59人(先着順) ※午前10時から事務所で指定席券を配布。投影時間を選べます

かるた大会in新春こどもまつり2025 会議室1

百人一首とかるたで、一緒に遊びませんか。



そのほか

ミニさやまプレーパーク、よりどころinこうみんかん、遊べる展示「忍者を探せ!」、新春こどもまつり参画団体活動紹介コーナー、子どもを対象にした公民館講座の紹介など

問い合わせ 新春こどもまつり事務局(市立公民館内) ☎366-0070

変わる！

問い合わせ 教育指導グループ ☎366-0011

中学生の放課後の過ごし方

現在、市内の中学校では、総数の約80%にあたる生徒が部活動に参加しています。生徒たちは、39の運動部、7つの文化部の中で、技術を磨いたり、仲間と過ごす時間を楽しむなど充実した放課後の時間を送っています。

しかし今、部活動の存続にあたり、2つの大きな課題に直面しています。

現状と課題

《部活動数の減少》放課後の過ごし方の多様化により、部活動に所属する生徒数は年々減少しています。活動する人数が不足すると、存続ができなくなる部活が出てきます 《指導者の経験不足》顧問の約半数が未経験の部活動の指導にあたって、生徒の技術面の向上と教員の長時間勤務が課題となっています。

市は、このような現状と課題を改善し、中学生の放課後の過ごし方をより充実させるため、大阪狭山市立中学校部活動の地域移行協議会を設置し、検討を始めています。

大阪狭山市立中学校部活動の地域移行協議会では、中学校やPTA、地域活動団体の代表者や学識経験者により、これまでの部活動の取り組みを検証し、今後の部活動の地域移行のあり方を検討します。協議会の池上会長と榎野副会長に、地域移行のメリットなどについて話を聞きました。

地域移行ってなに？

国が進めている改革の一環で、部活動を地域に移行し、地域のスポーツクラブや文化団体がその活動を担う取り組みです。この背景には、教員の負担軽減や、地域社会全体で子どもの育成を進める国の目的があります(池上会長)。

地域移行のメリットは？

教員が顧問をする部活動が、地域移行によってどう変わるのか不安があると思います。しかし、部活動数と部活動時間の確保、指導者の経験不足などの課題を解決するには、地域移行が必要であり、多くの付加価値をもたらすと考えます。例えば、他校の生徒や他世代の指導者とかかわりにより、コミュニケーション能

部活動のあり方の検討がスタート！

大阪狭山市立中学校部活動の地域移行協議会の開催！

力や社交性が養われます。また、学校外で活動することで、自主性や自己管理能力の向上、教員の指導環境の充実など多くのメリットが期待されます(榎野副会長)。

地域移行に期待することとは？

子どもが中心にあることを大前提に、保護者や地域の人が教員にとっても充実した放課後の過ごし方を模索していきます。地域には、様々な特性や特色があり、現在の部活動という概念をすぐに変えることは難しいですが、このまちに適した放課後の過ごし方を考えていきます。学校の部活動という形ではなく、「大阪狭山市の地域の取り組みの一つ」として捉え、地域と共に取り組みを進めていきます(池上会長)。

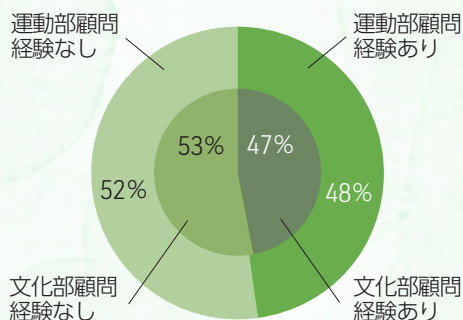


榎野俊之副会長／第三中学校校長



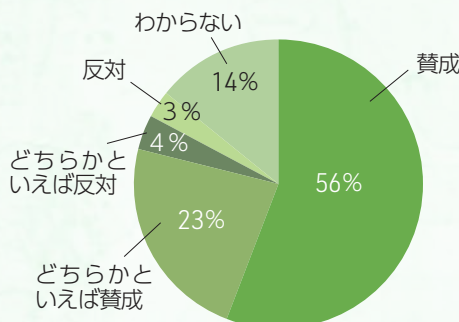
池上正会長／大阪体育大学客員教授

【担当教員の部活動経験の有無】



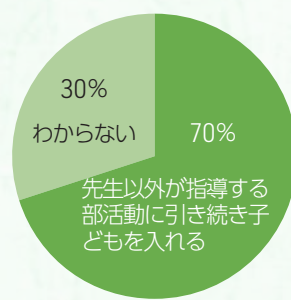
運動部、文化部ともに経験者は5割に満たない

【地域移行に対する教員の意見】



教員の約8割が地域移行に賛成

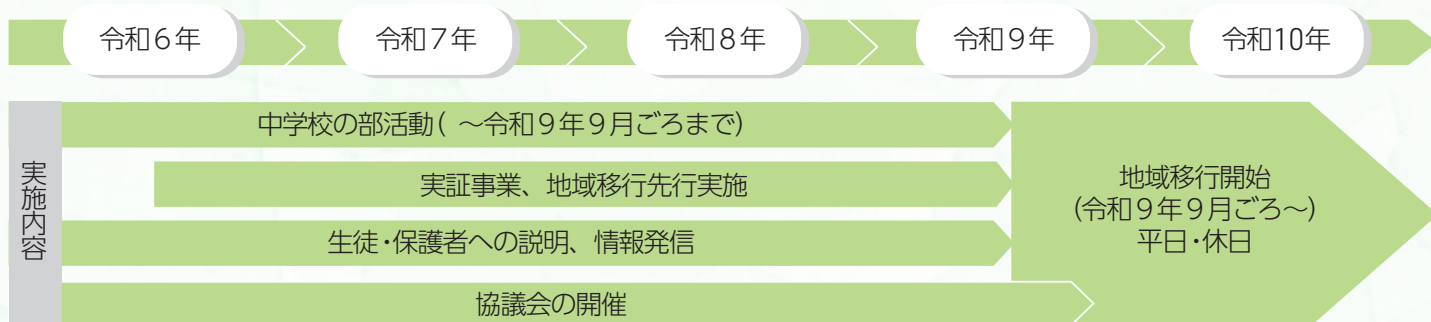
【地域移行後の意向について(保護者の意見)】



保護者の7割が先生以外が指導する部活動に引き続き子どもを入れると回答

部活動の地域移行のスケジュール(予定)と各学年の動き

●地域移行のスケジュール(予定)



●今後の各学年の動き(予定)

現在の学年	中学校入学からの動き
中学1年	中学3年まで部活動
小学6年	中学3年まで部活動
小学5年	中学2年の夏まで部活動。中学3年は地域移行団体に任意で参加
小学4年	中学1年の夏まで部活動。中学2・3年は地域移行団体に任意で参加
小学3年	地域移行団体に任意で参加



協議会の様子

卓球部で実証事業がスタート～子どもたちの声を聞いてみました～

昨年9月から、卓球部で地域移行に向けた実証事業がスタートしました。平日は、専門的な指導者が各中学校を巡回指導し、休日は、市内3つの中学校が合同で練習を行っています。各中学校のキャプテンに、新しい部活動について聞いてみました。



落合大護さん
南中学校2年生

専門の人の指導により、卓球が上達しやすいと感じています。また、3校の部員が毎週集まって練習することで、3校で何か一緒にやろうというきっかけになると思います。また、つながりができるということは、明るいまちづくりの一歩になっているとも感じます。今後は練習した成果を試合で出したいです。

いろいろなコーチが専門的な指導をしてくれているおかげで、自分自身も卓球の技術面でバリエーションが増えました。また、他校と交流できることで、楽しく活動できています。学年に関係なく、みんなで上手になろうという雰囲気を大切にしたいです。



松本颯太さん
第三中学校2年生



上田聖太さん
狭山中学校2年生

他校の部員と練習をするようになってから、周りのみんながうまくなっていると思います。コーチに教えてもらったことを定着させるために、狭山中学校の練習でも自主練習できる時間をつくりたいです。みんなが楽しく、ケンカしないように引っ張っていったらいいと思います。



3校合同練習の様子



渡邊ゆりなさん
狭山中学校2年生

他校の部員と練習でき、卓球が楽しくなりました。狭山中学校だけでは女子が少なく、部活を辞めることも考えていたので、今の形になって良かったです。コーチも親しみがあり優しい人ばかりです。ほかの部活でも合同になることで楽しくなる子がいるかもしれません。